



## 展示コーナーご案内

2017年12月5日(火) 13:30-17:20  
ANAクラウンプラザホテル金沢 3F



### “ICT活用の未来像” Technology Foresight®



日本ユニシスグループでは、市場動向、技術動向、ユーザー企業の動向より、3～5年後のICT活用の未来像を2009年より毎年策定しています。今まで培ってきた技術を継承し、時代に適合したICTを提供しつづける取り組みをご紹介します。

### 日本ユニシスのAIに対する取り組み(事例を中心として)



人工知能(AI)を活用した業務改革や新サービスの創出を、ユニシスと一緒に実現しませんか? 日本ユニシスでは人に寄り添う人工知能「Rinza」で様々なお客様を支援しています。人との対話を自動化する知的エージェント「RinzaTalk」や画像解析技術を用いた業務改革など、様々な事例をご紹介します。

### AI技術を活用した橋梁劣化要因・健全性判定システム



老朽化が進むインフラの効率的な維持管理・更新が求められる中、全国で約70万橋ある橋梁の点検には、専門技術者による膨大な労力がかかっています。そこで、「専門技術者の省力化」及び「劣化要因・健全性判定精度の確保・向上」を目指し、橋梁の点検写真等からAIの画像認識技術を活用して劣化要因や健全性を自動判定するシステムについて紹介します。

### BizRobo! ~RPAによる新しい働き方を考えよう~



膨大な情報の収集、タイムリーな処理業務や、ファイルからシステムへの転記・確認といったホワイトカラーの定型業務をRPA(Robotic Process Automation)が代行します。ロボット(Digital Labor)用のPCに、ソフトウェアをインストールするだけで準備は完了。あとはロボット(Digital Labor)に業務を覚えさせれば、すぐに「ロボットと働く新しい業務オペレーション」を実感できます。

### ビジネス版LINEでつながる ~LINE WORKSサービス~



多くの人を使い慣れているコミュニケーションアプリ「LINE」とほぼ同じインターフェースで、複数人や1対1でのコミュニケーションを行うことができるビジネス向けコミュニケーションツールです。企業に必要な管理・運用機能と強力なセキュリティー機能などを備えているため、モバイル環境でも安心して利用することができます。さらに、ユーザビリティ(使い勝手)/アクセスビリティ(利便性)に優れているため、利用者は特別な教育を必要とすることなく、導入後すぐに使いこなすことができます。

### Fortune Pocket 資産管理を身近に



自分の将来を考えてみたことがありますか? 住宅の購入、お子さんの教育資金、老後生活など不安は募る一方です。とはいえ、お金のことばかり気にするのも...って気持ちもありますよね。全ての人気が軽に資産管理と向き合えるよう支援する新たなサービス、それがFortune Pocketです。

### VRモデルルームを体験しよう! ~「見る」から「体験する」時代へ~



ヘッドマウントディスプレイを装着すると、リアルな仮想空間に移動し、実際の家にいるような感覚を味わえます。現実と見間違ふほどのグラフィックス、圧倒的な没入感を体験できます!

最新テクノロジー  
対応

働き方改革

個人利用サービス

## AIがまちにやってきた！

UNISYS

IoT等により収集されたビッグデータをもとに、AIを活用して「まちづくり」を実現します。当ブースでは、2017年にリリースをした倉敷市への適用事例を中心に、AIを活用した観光レコメンドサービスやIoTを活用した人流解析をご紹介します。

## 映像解析サービス（人流解析サービス）

UNISYS

カメラに併設する小型コンピュータ上で、撮影された映像上の人物や顔を認識し、その人物の動線や顔から推定した年齢・性別の情報を日本ユニシスグループが提供する「IoTビジネスプラットフォーム」上で可視化・分析するクラウドサービスです。

## フォークリフト動態監視活用のイメージ紹介

UNISYS

エッジ処理サービスとデバイス管理サービスを活用し、デバイスを利用したフォークリフトの位置測位、クラウドへのデータ蓄積を行い動線分析による業務改善や作業の最適化、運転手の作業管理、安全運転/エコ運転等の業務改善例をデモ展示します。

## 通信型ドライブレコーダー ~無事故プログラムDR®~

UNISYS

昨今、あおり運転対策から事故事件時の映像記録まで、話題のドライブレコーダー。弊社では法人向けに通信機能を搭載したドライブレコーダーを提供しております。保険料の削減から、社員様を守るための事故防止の実現まで、最新の社用車向けIoTデバイスの活用事例をご紹介します。

## ロボホン ~ヒトとキカイが『共生・共働』する未来社会の創造~

UNICIDEX

ユニアデックスの未来サービス研究所で進めているロボットに関する研究テーマのひとつとして、「ヒトとキカイとが『共生・共働』する未来社会の創造」を掲げています。それは、ロボットと共に生きることで生活が豊かになったり、共に働くことで業務の効率化や負荷の軽減ができたり、人工知能との連動で人間にしかできなかったことも自動化できるようになるなど、ヒトに「気づき」を促すことでヒトがもっといろいろなことができるような社会の実現を目指します。



## 計測データの活用 ~トンネル施工・検査業務、ドローン~

UEL Corporation

土木工事現場ではレーザスキャナや3次元モデルを活用した、社会資本の整備、管理の効率化・高度化を図るCIM（Construction Information Modeling/Management）の取組がスタートしています。ポリゴン（TINメッシュ）編集ソリューションを活用した適用事例と、ドローン計測や地理院基盤地図の高精度メッシュ化ソフトをご紹介します。

## ネットワークの可視化ツール ~Flowmon~

UNICIDEX

ネットワークを通過するパケット情報から、ネットワークトラフィックの監視分析、セキュリティに関する振る舞い検知を実施するツールです。

多くの被害をもたらしている標的型攻撃への対策で、このネットワークフローを元にして標的型攻撃やマルウェア等の脅威情報を見つけ対処を行う事が有効な対策ソリューションとなっております。

## ユニシス研究会 活動報告

JUA

日本ユニシスグループのユーザ会である「ユニシス研究会」が取り組んでいる「研究」や「論文」の成果をはじめ、業種や業界を超えた交流などの活動をご紹介します。